



# 基本施策 3-4 健康づくりを推進する

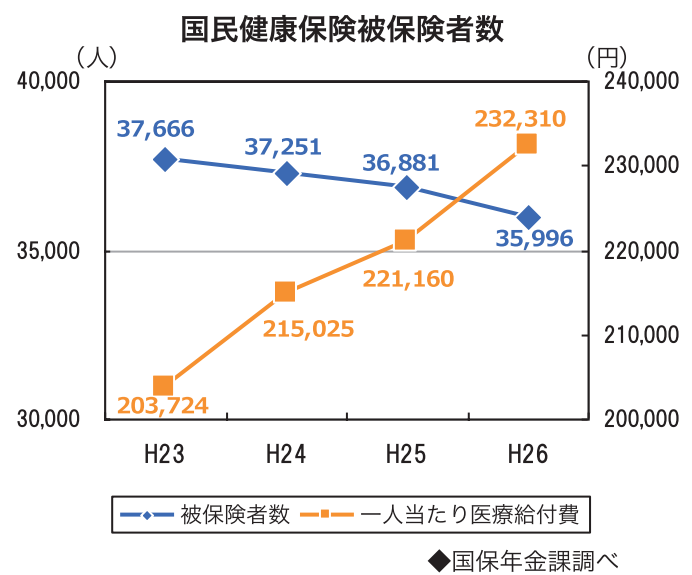
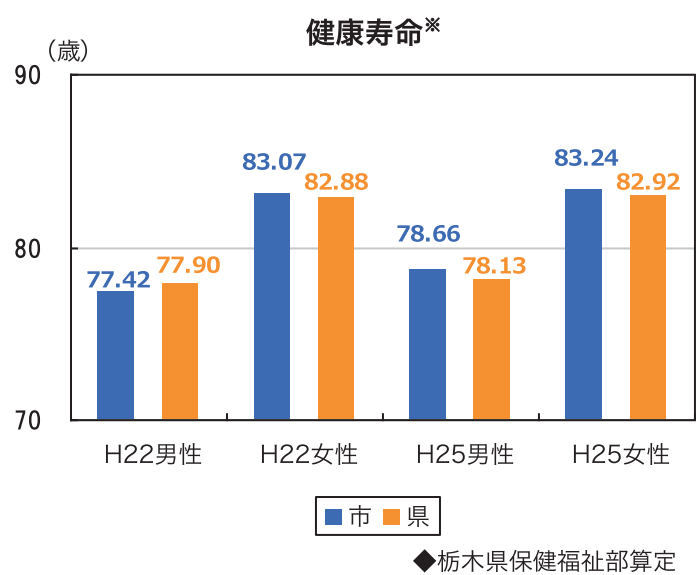
## 現状

生涯にわたり健康でいきいきと暮らすためには、若いうちから健康に関心を持つことが重要です。平成27年度実施の「市生活習慣アンケート調査」においても、若い世代ほど健康に対する関心が低いことから、健康的な生活習慣定着のための普及啓発活動と、市民のライフステージに応じた健康づくりへの支援が求められています。

また、成人保健においては、がん検診受診率と特定健診受診率は増加傾向にあるもののまだ低い状態であり、がんの早期発見、早期治療や生活習慣病予防への対応が求められています。

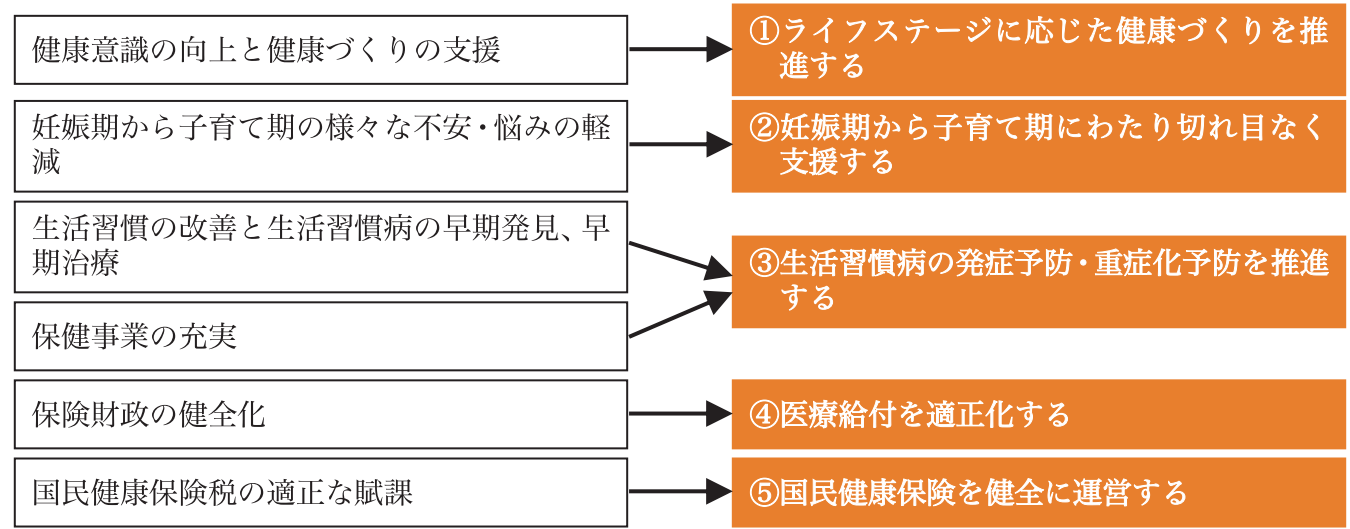
妊産婦支援においては、育児の不安や悩み、負担感等様々な問題を抱えている子育て中の親が、地域において安心して出産・育児ができるよう、きめ細やかで切れ目ない支援の充実が求められています。

国民健康保険制度は、国民皆保険を支える重要な制度ですが、被保険者の高齢化や個人の所得水準が伸びず、保険税収の確保が望めない一方で、医療技術の高度化、生活習慣病り患者の増加等に伴い医療費が増加し、厳しい財政状況が続いています。そのため、保険財政の健全化を進めるに当たり、医療費の適正化や各種保健事業の推進などによる医療費の抑制や適正な資格管理による保険税の確保が求められています。



## 課題

## 具体的な施策



目指すまちの姿

全ての市民が健康で心豊かに生活できる元気なまちになっています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H 2 6 (基準年度)	R 4 (目標年度)	
① ライフステージに応じた健康づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりの推進</li> <li>食育の推進</li> <li>若い世代の健康対策</li> <li>かかりつけ医の普及啓発</li> <li>健康度アップ事業*の推進</li> </ul>	健康寿命	男性 78.66歳 女性 83.24歳 (H25)	健康寿命の延伸	健康増進課 国保年金課
② 妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援する	<ul style="list-style-type: none"> <li>妊産婦支援</li> <li>母子保健</li> </ul>	この地域で今後も子育てをしていきたいと思う保護者の割合	91.1% (H27)	95%	健康増進課
③ 生活習慣病の発症予防・重症化予防を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防対策</li> <li>がん検診の推進</li> <li>特定健診・特定保健指導*の推進</li> <li>重症化予防対策</li> <li>人間ドックへの助成</li> </ul>	大腸がん検診の受診率	40.3%	50%	健康増進課 国保年金課
④ 医療給付を適正化する	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬明細書内容の点検</li> <li>医療費の通知</li> <li>重複受診・重複服薬者への通知</li> <li>後発医薬品*の普及</li> </ul>	後発医薬品利用率	67%	80%	国保年金課
⑤ 国民健康保険を健全に運営する	<ul style="list-style-type: none"> <li>異動届が未届けになっている被保険者への届出勧奨</li> </ul>	異動届未提出者処理率	76.4%	80%	国保年金課

関連する計画

第3期健康いきいき21プラン(平成29～33年度)  
 子ども・子育て未来プラン(平成27～31年度)  
 国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)(平成27～29年度)  
 第2期特定健康診査等実施計画(平成25～29年度)

※健康寿命：平均寿命から日常生活に制限のある期間の平均を除いた年数のこと。ここでは、厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」が定めた『健康寿命の算定方法の指針』及び『健康寿命の算定プログラム』を用いて、県保健福祉部が算定した値。真の値は95%の信頼度で信頼区間に含まれているものとみなされる。

◆95%信頼区間 那須塩原市：男性 78.10～79.23年、女性 82.69～83.79年(平成25年)  
 栃木県：男性 77.99～78.27年、女性 82.79～83.04年(平成25年)

※健康度アップ事業：メタボリックシンドロームを予防・解消して病気になりにくい体づくりを行う事業

※特定健診・特定保健指導：生活習慣病のもととなるメタボリックシンドロームやその予備群の人を早期発見し、改善してもらうために、40歳以上75歳未満を対象として行う健診と指導

※後発医薬品(ジェネリック医薬品)：最初に作られた薬(新薬)の特許が切れた後に作られた、新薬と同じ成分や効果を持ち安価で提供される、国の認可を受けた医薬品



## 基本施策 3-5 男女共同参画社会を実現させる

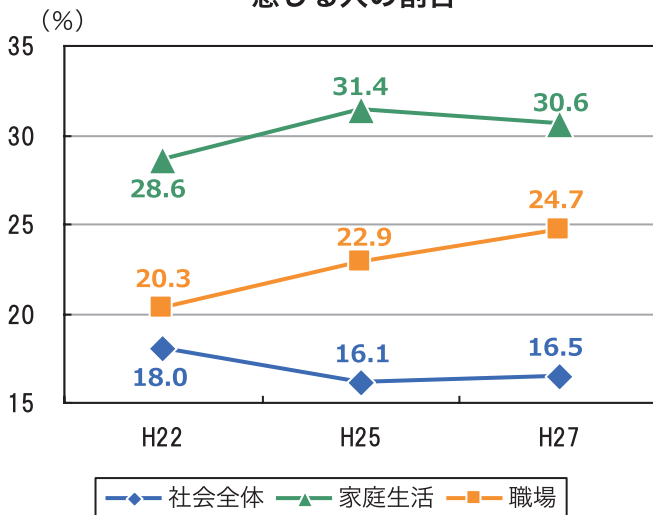
### 現状

少子高齢化が進み人口減少社会に突入した状況の中、社会の多様性と活力を高め、経済発展を維持していくことが重要となっています。そうした中、男女間の実質的な機会の平等を担保する観点から、男女共同参画社会の実現が求められており、男女共同参画についての市民の理解や取組が広がりつつあります。

しかしながら、意識の中に長い時間をかけて形づくられてきた、性別に基づく固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣習は、今なお存在しています。

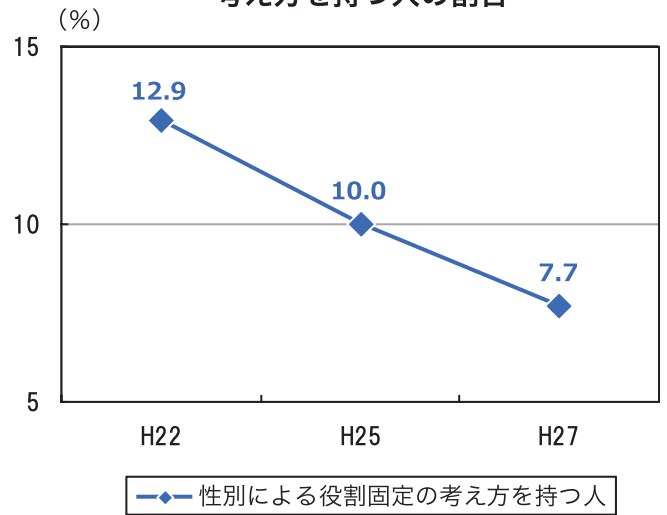
そのため、男女が互いにその人権を尊重し、社会のあらゆる分野において性別に関係なく、活躍できる環境づくりが求められています。

「男女の地位が平等になっている」と感じる人の割合



◆市民協働推進課調べ

「男は仕事、女は家庭」という考え方を持つ人の割合



◆市民協働推進課調べ

### 課題

- 男女共同参画の理解促進
- 性別による固定的な役割分担意識や社会慣習の解消
- 人権意識の醸成とDV被害者への支援体制の整備
- 男女を問わず様々な地域・社会活動への参画推進

### 具体的な施策

- ①男女共同参画の意識づくりと環境整備を推進する
- ②男女の人権尊重と暴力の根絶を推進する
- ③あらゆる分野への男女共同参画を推進する

**目指すまちの姿**      男女が対等な立場であらゆる分野の活動に参画できるまちになっています。

具体的な施策	取組内容	目標値			担当課
		指標	H26 (基準年度)	R4 (目標年度)	
① 男女共同参画の意識づくりと環境整備を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画広報紙「みいな」の発行</li> <li>男女共同参画セミナーの開催</li> <li>男女共同参画フォーラムの開催</li> </ul>	「社会全体」で男女の地位が平等になっていると感じる人の割合	16.5%	23%	市民協働推進課
② 男女の人権尊重と暴力の根絶を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>セクシャル・ハラスメント防止のための啓発</li> <li>DV防止のための啓発</li> </ul>	夫婦間における「平手で打つ」を暴力として認識する人の割合	68.8%	100%	市民協働推進課
③ あらゆる分野への男女共同参画を推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>審議会等の男女比率の改善</li> <li>人材育成及び団体への支援</li> <li>男女共同参画事業者の表彰</li> </ul>	審議会等の委員に占める女性委員の割合	28.5%	40%	市民協働推進課



男女共同参画広報紙「みいな」



高校でのデートDVに関する出前講座

**関連する計画**      第3次男女共同参画行動計画(平成29～33年度)  
第2次配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する基本計画(平成29～33年度)

